

2022年11月24日 Kudan株式会社

Kudan、SLAM 技術を活用したモバイルマッピング開発キットを発売

様々な機器に人工知覚/SLAM技術を提供する K u d a n 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO:項 大雨、以下 Kudan)は、この度、Kudan 3D-Lidar SLAM(KdLidar)を活用した車載向けと手持ち(ハンドヘルド)向けのモバイルマッピング開発キットの発売を開始したことをお知らせいたします。



これまで、Kudan の SLAM ソフトウェアを用いて点群を容易に取得・生成することができるように、センサなどのハードウェアと Kudan の 3 D-Lidar SLAM を組み合わせてパッケージにしたソリューションへの要望が非常に強くありました。モバイルマッピングソリューションは既にいくつか市場に存在していますが、マッピング業界において特定の顧客層、特に大学や研究機関などでは、より高いコストパフォーマンス、柔軟なパラメータ調整、容易な取り扱いのニーズが強く、従来製品は必ずしもこれらのニーズに応えているわけではありませんでした。今回の開発キットの発売で、これらの市場の要望に応えられると考えております。

特に他のソリューションに比べて優れている点:

- 1. **優れた投資対効果**: Kudan 3D-Lidar SLAM の性能により点群の精度は妥協することなく、多くの既存代替製品の半分程度の価格で提供
- 2. **設定の柔軟性**:様々な適用事例のニーズに応えられるように、データ収集や点群生成における様々なパラメータを調整可能
- 3. 取り扱いの容易さ: パッケージを開けてから1時間以内にデータ収集・点群生成が可能



この度の発売に合わせて、本開発キット専用のウェブサイトページも設置しており、詳細の情報については、下記ページをご覧いただくか、HPよりお問い合わせください。

• ハンドヘルド: https://www.kudan.io/jp/mapping_dev_kit/handheld_version/

• 車載用: https://www.kudan.io/jp/mapping_dev_kit/vehicle_mount_version/



今回の開発キットと並行して、従来通り、既存の INS (GNSS と IMU を組み合わせた位置把握センサ) や他の SLAM アプローチを用いたモバイルマッピングソリューションの更なる性能向上のために SLAM ソフトウェア単独での提供も継続して行っております。

【Kudan株式会社について】

Kudan は、機械(コンピュータやロボット)の「眼」に相当する人工知覚(AP)のアルゴリズムを専門とする Deep Tech(ディープテック)の研究開発企業です。人工知覚(AP)は、機械の「脳」に相当する人工知能(AI)と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。詳細な情報は、Kudan のウェブサイト(https://www.kudan.io/jp/)をご参照ください。

■会社概要

会 社 名:Kudan株式会社証券コード:4425 (東証グロース)

代表者: 代表取締役 CEO 項大雨

■お問い合わせ先はこちら